

# 日本を愛する キリスト者の会

会員集  
会募

私は日本のために、日本は世界のために、世界はキリストのために、そして全ては神の栄光のために

(内村鑑三)

聖書に「いにしえの日を覚え、代々の年を思え」(申命記32:7)とあります。日本の歴史と伝統文化を健全なかたちで捉え直すとき、そこに神の恵み、贖いの賜物をたくさん発見することができるのです。その観点に立って、私たちは新しい福音宣教を展開していきたいと願っています。

教会は、日本人の傷ついたセルフイメージを健全化し、日本を深く愛してやまない神に、その心に向かわせるための働きを中心に立ち戻るべきです。私たちクリスチャンは、日本人を高めから批判し告発するのではなく、この国を愛し、いとおしむ心を持つことが最も大切でしょう。

思いを同じくするかたはぜひこの会に参加し、共に祈り働いてまいりましょう。

## 私たちの活動を紹介します

### 01 日本の歴史・文化の中に新しい光を！

講演Ⅰ

「大勢のユダヤ人難民を救ったもう一人の日本人－樋口季一郎」

講師：樋口隆一氏



ヒトラーに追われてシベリア鉄道でソ連・満州国の国境に達した大勢のユダヤ難民を、日独両政府に抗命して特別列車を手配し、上海租界へ脱出させた人道主義者・樋口季一郎(最終階級は陸軍中将)。その知られざる実話を、研究者である実のお孫さんの口を通して聞く。

### 02 神が愛された美しい日本人の回復を

講演Ⅱ

「我らは何をなすべきか－精神的バビロニア捕囚からの解放に向かって」

講師：手束正昭牧師

「日本は悪い国であった」という偏った歴史観のもたらした弊害と健全な歴史観に立って福音を宣べ伝えることの大切さを説く。

手束牧師は強調する。「日本人は福音を求めています。だから、日本人に合ったやり方で伝道していくなら必ず救われるのです」



### 講演会の開催

東京と地方都市において年に数回の講演会を開催しています



### 会報誌の発行

当会は会報誌を発行しています。必要な方は事務局までお申し出ください。



### 会員の声

日本のリバイバルのために、また日本として主の宣教命令を成し遂げていくためには、日本を愛する思い、日本人としての正しいアイデンティティを持つことは欠かせないという思いに至りました。それは正しい歴史認識また現状認識を持つことです。(アメリカ在住 K 姉)